

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



今年4月に介護保険制度の改定がありました。要支援の方の訪問介護やデイサービスが市町村の地域支援事業に移行しました。平成25年8月に出された社会保険制度改革国民会議報告書には、『病院完結型』の医療から「地域完結型」の医療へと転換する中で、人生の最終段階における医療の在り方について、国民的な合意を形成していくことが重要で、そのためにも、高齢者が病院外で診療や介護を受けることができる体制を整備していく必要がある』と書かれています。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。厚生労働省においては2025年（平成37年）を目的として、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を推進しています。

※市報6月号にも三好市医師会長・田岡清三郎先生による「地域包括ケアシステム」についてのお話を取り上げました。

地域包括ケアシステムとは？

今年4月に介護保険制度の改定がありました。要支援の方の訪問介護やデイサービスが市町村の地域支援事業に移行しました。平成25年8月に出された社会保険制度改革国民会議報告書には、『病院完結型』の医療から「地域完結型」の医療へと転換する中で、人生の最終段階における医療の在り方について、国民的な合意を形成していくことが重要で、そのためにも、高齢者が病院外で診療や介護を受けることができる体制を整備していく必要がある』と書かれています。

地域包括ケアシステムの 実現に向けて



おける医療の在り方について、国民的な合意を形成していくことが重要で、そのためにも、高齢者が病院外で診療や介護を受けることができる体制を整備していく必要がある』と書かれています。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。厚生労働省においては2025年（平成37年）を目的として、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を推進しています。

県立三好病院市民公開講座が開催されます

【テーマ】 地域包括ケア〜みんなで守る地域で見守るあなたの暮らし〜

【日時】 11月29日（日）12時30分〜15時15分（12時開場）

【場所】 池田総合体育館サブアリーナ

【第一部】
講演 ▼「自分らしくここで生きる〜あなたの役割〜」
講師 ▼ 広島県地域包括ケア推進センター 主幹 石口房子先生

内容 ▼ 広島県は昭和49年から地域包括ケアに取り組み、現在は他県他地域の参考モデルとなるシステムの構築を推し進めています。今回の講師である石口先生は、その第一線で指揮をとり豊富な経験をお持ちです。この地域に生かせるお話を聞かせていただけたらと思います。

【第二部】 パネルディスカッション
 「それぞれの立場から地域包括ケアを考える」
パネリスト ▼ 三好市環境福祉部長 大西道夫氏、みよし地域包括支援センター所長 片山健一氏、三好市医師会長 田岡清三郎氏、三好病院 長住友幸氏



【主催】 三好病院

【共催】 三好病院を応援する会・三好市医師会・三好保健所

【後援】 三好市・東みよし町

【お問い合わせ先】
 県立三好病院（電話72-1131）

内容 ▼ 実際に三好地域の地域包括ケア構築に関わる方々が、それぞれの立場から現状と課題について討論を行います。地域包括ケアシステムの構築のためには、住民自らが自主的、主体的に関わっていくことが必要であると言われていきます。ぜひご参加いただき、自分を取り巻く今の問題、これからの問題を一緒に考えましょう。

子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応への支援制度を開始



平成22年度から全国の自治体で子宮頸がん予防ワクチン接種が実施されていますが、接種後に広範囲に広がる痛みや手足の動かしにくさ、不随意運動（体の一部が自分の意志に関係なく動いてしまうこと）などのさまざまな症状が報告され、現在では積極的に接種をお勧めしていません。

三好市では10月から、接種後の症状（副反応）が持続している方が入院、通院する際の医療費、交通費などを支給する制度を開始しました。

三好市が実施したワクチン接種後に、以下のような症状が持続している方は、健康づくり課にご相談ください。

【接種後の主な症状】

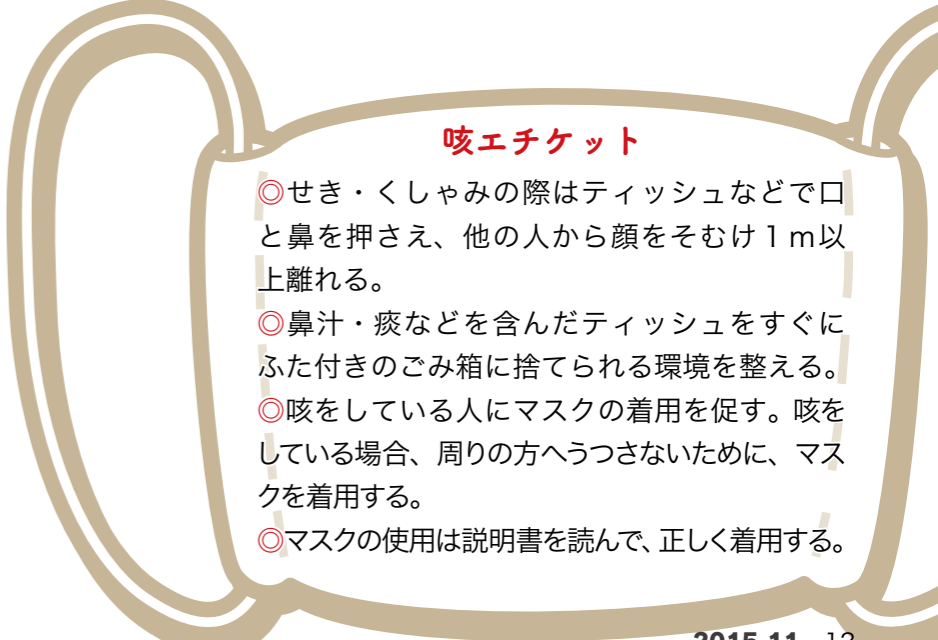
接種部位の痛みや腫れ、かゆみや出血、発熱、倦怠感、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み、手足のしびれや脱力、めまい、視力の低下や視野狭窄などの目の症状。呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー。手足の力の入りにくさなどを症状とする末梢神経の病気。頭痛、嘔吐、意識の低下などを症状とする脳などの神経の病気。広範囲に広がる痛みや手足の動かしにくさ、不随意運動。記憶障害など。

【お問い合わせ先】

三好市役所健康づくり課（三好市保健センター内）電話 72-6767

教えて！インフルエンザ基礎知識 Q&A

- Q** インフルエンザとはどんな病気？
- A** インフルエンザウイルスの感染により、突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が現れることが特徴です。通常、高熱が数日持続し、1週間程度で回復します。時には、合併症を伴い重症になることもあります。インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、通常、11月から12月に始まり、翌年の1月から3月ごろの間に増加します。
- Q** インフルエンザにかからないためにはどうすればいいの？
- A** インフルエンザ流行前に予防接種を受けることが、予防の基礎です。うがいや手洗いをしましょう。バランスのよい食事と、十分な休養をとり、疲労を避けましょう。室内の換気を行い、適度な湿度を保ちましょう。人込みや繁華街への外出を控えましょう。もし外出するときにはマスクを着用すると良いでしょう。



咳エチケット

- ◎せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
- ◎鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐにふた付きのごみ箱に捨てられる環境を整える。
- ◎咳をしている人にマスクの着用を促す。咳をしている場合、周りの方へうつさないために、マスクを着用する。
- ◎マスクの使用は説明書を読んで、正しく着用する。